

# 平成30年度 学校研究全体計画

小松市立符津小学校

## 1. 研究主題

「自ら学び，共に学び合う子の育成

～「主体的・対話的で深い学び」の実現 算数科を中心として～

## 2. 主題設定の理由

本校は、昨年度までの3年間にわたり、国語科の授業研究を通して、小松市のわかる授業プロジェクト、主体的・協働的な子どもの学びを研究し推進してきた。その研究の中で、昨年度は「学び合い学習の充実」「まとめ・ふり返りによる児童の学びの自覚化」に重点をおいて取り組んできた。研究を通して単元のどの場面で学び合い活動を取り入れるとよいかを考えて、効果的に学び合い活動を取り入れることができた。その結果、児童アンケートでは、話し合い活動を通して自分の考えが深まったと感じた児童が増加した。しかしながら、自分の考えを伝えるのが不十分であったり、グループでの交流後の全体交流が発表会になったりすることが課題として残った。

さらに、児童の現状に目を向けると、算数の基礎的な計算の正答率が高いのだが、事象を説明する力が十分ではない。そこで、前年度までの国語科の研究スタイルをもとに、伝え合いながら思考を深めることが本校児童につけたい力であると考えた。

### 自ら学ぶ子

「学びたい」という意欲をもち、進んで学習に向かう子  
自分の考えをもち、考えを進んで表現する子  
友だちと共に学習しよう、学習課題を解決しようとする子  
既習を生かして学ぶことができる子

### 共に学び合う子

学び合い、話し合うことで自分の考えを表現し深めていくことができる子  
自分の考えを伝えることができる子  
友だちの意見を自分の考えと比べながら聞くことができる子  
みんなで解決できて良かった、楽しかったと思える子

算数科における

### 主体的な学び

児童自らが問題の解決に向けて見通しをもち、粘り強く取り組み、よりよい解決をしたり、新たな問いを見いだしたりする学び

### 対話的な学び

事象を数学的な表現を用いて説明したり、よりよい考えや事柄について話し合い、よりよい考えに高めたりすることで問題を解決したり、事柄の本質を明らかにする学び

### 深い学び

算数に関わる事象や、日常生活に関わる事象について「数学的な見方・考え方」を働かせ、数学的活動を通して、新しい概念を形成したり、よりよい方法を見いだしたりするなど、新たな知識・技能を身に付けてそれらを統合し、思考が変容する学び

※数学的な見方・考え方 「事象を数量や図形及びそれらの関係についての概念等に着目して其特征や本質をとらえること」(学習指導要領解説 2017 文部科学省)

### 3. 研究構想図

〈小松市教育目標〉 ～智仁勇 あすのこまつを創る人～  
 生涯にわたり みずから学ぶ人・思いやりある 心豊かな人・すこやかで 活力あふれる人・  
 ふるさを愛し 世界にはばたく人

〈学校教育目標〉 心豊かでたくましく，しっかり考え，自ら進んで行動する児童の育成

**研究主題** 自ら学び 共に学び合う子の育成  
 ～主体的・対話的で深い学びの実現 算数科を中心として～

